

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項

### [研究対象者に通知又は公開する方法]

大学のホームページに掲載する。

### [試料・情報の利用目的及び利用方法]

研究課題名 「現役薬剤師に聞くかかりつけ薬剤師制度の現状とこれから」

#### 研究の目的

厚生労働省は2015年に「患者のための薬局ビジョン」を策定し、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿として持つべき3つの機能を明らかにし、2016年の調剤報酬改定では、かかりつけ薬剤師指導料が新設された。

現在、かかりつけ薬剤師の制度に対する意見は二極化しており、持つべき3つの機能の一部は本来薬局・薬剤師が行っているべきはずの業務も含まれている。新たに算定をとるということは今まで行われていたサービスに料金が発生し、患者に負担を強いることとなるが、算定を取らなければ国から患者のための薬局ではないとみなされてしまうため、薬局・薬剤師はジレンマを抱えることとなり意見が二極化したのではないかと考えられる。

「かかりつけ薬剤師」が患者さんに普及しない原因は薬剤師が制度に関して不満があるからなのではと考え、本研究では、アンケートから現在のかかりつけ薬剤師の状況や意識を把握し、制度の問題を明らかにすることで患者のための「かかりつけ薬剤師」とは何なのかを考察することを目的とする。

本研究で得られた問題点を整理し解析することで、患者のための「かかりつけ薬剤師」とは何なのか、また今後「かかりつけ薬剤師」はどう考えて行動していくべきなのか、といった行動規範の方向性を定める一助となることを期待する。

研究期間 2019年5月13日 ～ 2019年7月31日

その他（他の研究機関に提供される場合はその方法）

### [利用又は提供する試料・情報]

利用する情報：匿名回答によるアンケート結果

[利用する者の範囲]（研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）

研究機関名及び研究責任者氏名

城西大学薬学部薬学科薬剤学研究室 関 俊暢

### [試料・情報の管理について責任を有する者の所属・氏名]

城西大学薬学部薬学科薬剤学研究室 関 俊暢

**[研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への情報を停止する方法]**

個人を特定しない web 上でのアンケート調査であり、直接対象者に接触することがないため該当しない。

**[研究対象者が研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧する方法]**

他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障のない範囲で、城西大学薬学部薬学科薬剤学研究室で研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧を行うことができる。

**[研究対象者等及びその関係者からの相談窓口]**

担当者 城西大学薬学部薬学科薬剤学研究室 細谷 治

電話 049-271-8107 、メールアドレス ohosoya@josai.ac.jp